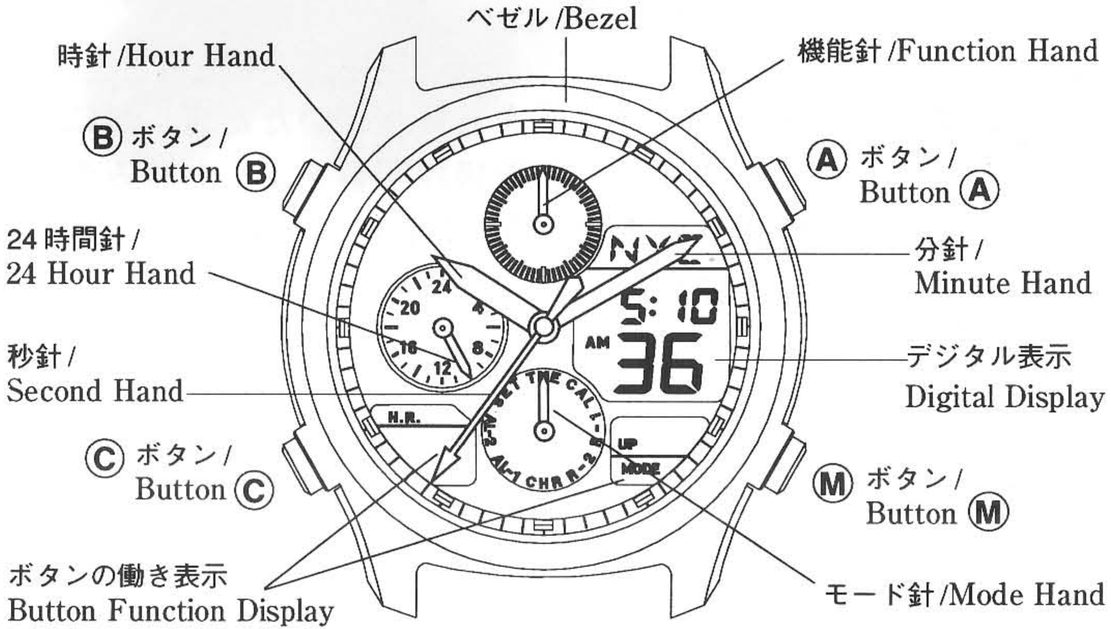


* モデルによってはデザインの異なるものがあります。
*The design may differ slightly depending on the model.

この取扱説明書は、左側の図を参照しながらお読みください。

When reading this instruction manual please keep the watch diagram at left folded out and in view.

11. クロノグラフの使い方［CHR］……24
12. アラーム1／2の使い方［AL—1／AL—2］……27
13. ボタンの働き表示について……29
14. 覚えておくと便利な機能……31
デジタル表示にアナログの針が重なり、デジタル表示が見にくい時……31
時計が異常な表示をした時や故障かな？と思った時……32
15. ベゼルの使い方……34
16. お取り扱いにあたって……39
17. 製品仕様……48
18. 保証とアフターサービス……49
19. お問い合わせ窓口……51

⚠注意
- ●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- ●お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人の危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠ このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

1．商品の特長

この時計は、ＵＴＣ（協定世界時）及び世界２３都市の時刻／カレンダーをボタン操作で簡単に呼び出すことができます。
また、ヨット競技等に便利なレースタイマーや、アラーム、クロノグラフ機能を持ったコンビネーションウォッチです。

2．各部の名称

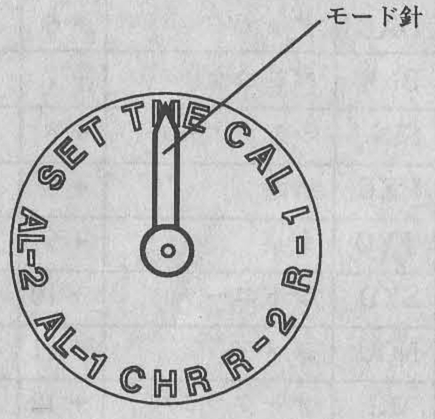
巻頭見開きのイラストと照らし合せてご覧ください。

名称＼モード	時刻（TME）	カレンダー（CAL）	レースタイマー1（R—1）	レースタイマー2（R—2）	クロノグラフ（CHR）	アラーム1/2（AL—1/2）	ゾーンセット（SET）
モード針（表示）	TME	CAL	R—1	R—2	CHR	AL—1 または AL—2	SET
デジタル表示	時、分、秒、都市名	月、日、曜、都市名	分、秒、セット時間	分、秒、セット時間	時、分、秒、1/100秒	時、分、ON/OF 都市名	SET/OFF、都市名
機能針	常に12時位置で停止		タイマー分	タイマー分（クロノ分）	クロノ分	常に12時位置で停止	
時　針	時刻（時）表示						
分　針	時刻（分）表示						

名称＼モード	時刻（TME）	カレンダー（CAL）	レースタイマー1（R－1）	レースタイマー2（R－2）	クロノグラフ（CHR）	アラーム1/2（CHR）	ゾーンセット（CHR）
秒針	時刻（秒）表示		タイマー秒	タイマー秒（クロノ秒）	クロノ秒	時刻（秒）表示	
24時間針	時分針と連動して24時間表示						
ボタンの働き表示	時計の表示／状態に合わせて各ボタンの働きを表示						
Ⓜ ボタン	モードの切り替えと修正状態への移行などに使用						
Ⓐ ボタン	都市の呼び出し、レースタイマー／クロノグラフのスタートやストップなどに使用						
Ⓑ ボタン	針退避、ゾーンセットでの修正などに使用						
Ⓒ ボタン	都市の呼び出し、タイマー／クロノグラフのリセットなどに使用						

3．機能（モード）の切り替え

Ⓜ ボタンを押す毎に、モードが切り替わります。現在のモードをモード針が示します。



TME	：	通常時刻
CAL	：	カレンダー
R－1	：	レースタイマー1
R－2	：	レースタイマー2
CHR	：	クロノグラフ
AL－1	：	アラーム1
AL－2	：	アラーム2
SET	：	ゾーンセット

4．この時計が表示する都市とＵＴＣ（協定世界時）との時差

NO	時計の表示	都　市　名	時差	サマータイム実施	NO	時計の表示	都　市　名	時差	サマータイム実施
1	UTC	協定世界時	±０	—	9	DAC	ダッカ	＋６	×
2	LON	ロンドン	±０	○	10	BKK	バンコク	＋７	×
3	PAR	パリ	＋１	○	11	SIN	シンガポール	＋８	×
4	ROM	ローマ	＋１	○	12	HKG	香港	＋８	×
5	IST	イスタンブール	＋２	○	13	TYO	東京	＋９	×
6	MOW	モスクワ	＋３	○	14	SYD	シドニー	＋10	○
7	DXB	ドバイ	＋４	×	15	NOU	ヌメア	＋11	×
8	KHI	カラチ	＋５	×	16	AKL	オークランド	＋12	○

（単位：時間）

NO	時計の表示	都　市　名	時差	サマータイム実施
17	HNL	ホノルル	－10	×
18	ANC	アンカレッジ	－９	○
19	LAX	ロサンゼルス	－８	○
20	DEN	デンバー	－７	○
21	CHI	シカゴ	－６	○
22	NYC	ニューヨーク	－５	○
23	CCS	カラカス	－４	×
24	RIO	リオデジャネイロ	－３	○

・サマータイムの実施都市（地域）を○印、実施していない都市（地域）を×印で表しています。
・各国の時差及びサマータイムは国の都合により変更となる場合があります。

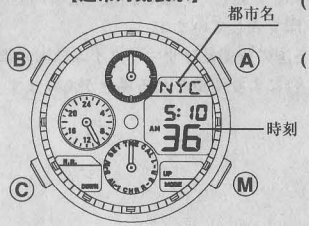
（1994年、現在）

5．時刻の合わせ方

〈デジタル時刻の合わせ方［TME］〉

いずれかひとつの都市の時刻合わせを行うと他の都市の時刻も自動的にセットされます。

【通常時刻表示】



(1) Ⓜボタンを押して、『TME』モードにします。

(2) Ⓐまたは Ⓒ ボタンを押して時刻修正したい都市を呼び出します。

(3) Ⓜ ボタンを引き出します。デジタル表示の“時、分、秒”が点滅します。

☆この時、サマータイムの切り替えを行うことができます。

Ⓒ ボタンを押してその都市のサマータイムを切り替えます。（サマータイム表示中は、“SUMMER”が表示されます）

(4) Ⓐボタンを押す毎に“SUMMER”→“秒”→“分”→“時”→“12H／24H”の順番で点滅箇所が変わりますので、修正したい箇所を点滅させます。

(5) Ⓒボタンを押して、点滅している箇所を修正します。(ボタンを押し続けると早送りできます。)

・12時間制表示の時は、AM／PMに注意してください。

(6) Ⓜボタンを通常位置に押し込み、デジタル時刻合わせは終了です。

☆サマータイムは、各都市毎に独立してセットできます。

〈アナログ時刻の合わせ方〉

アナログ単独での時刻合わせはできません。

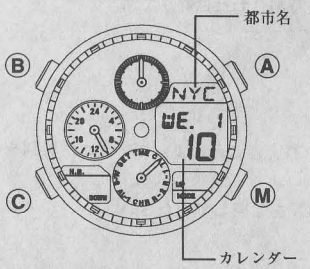
但し、デジタル表示とアナログ表示の時刻を入れ替えることによってアナログ時刻を合わせることができます。

“7．デジタル表示とアナログ表示の入れ替え方”を参照してください。

6．カレンダーの合わせ方［ＣＡＬ］

いずれかひとつの都市のカレンダー合わせを行うと、他の都市のカレンダーも自動的にセットされます。

【カレンダー通常表示】



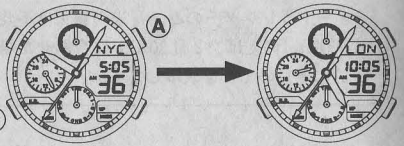
(1) Ⓜボタンを押して、『ＣＡＬ』モードにします。
(2) Ⓐ または Ⓒ ボタンを押してカレンダー修正したい都市を呼び出します。
(3) Ⓜボタンを引き出します。デジタル表示の“月”が　点滅します。
(4) Ⓐボタンを押す毎に“月”→“日”→“曜”→“年”の順番で点滅箇所が変わりますので、修正したい箇所を点滅させます。

(5) Ⓒボタンを押して、修正します。(ボタンを押し続けると早送りできます。)
(6) Ⓜボタンを通常位置に押し込みます。

・年は、西暦1995年～2099年までセットできます。
・オートカレンダーの為、月末の修正は不要です。
・非存日（例えば、２月30日）に合わせた場合は、通常表示に戻すと自動的に翌月の１日を表示します。

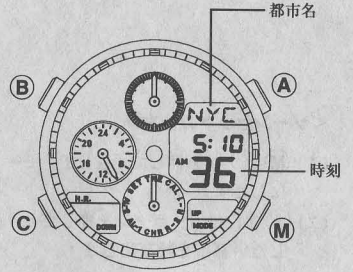
7．デジタル表示とアナログ表示の入れ替え方

この時計は、デジタル表示の都市とアナログ表示の都市の時刻またはカレンダーを簡単に入れ替えることができます。



(1) Ⓜボタンを押して『TME』モードまたは『CAL』モードにします。
(2) ⒶまたはⒸボタンを押してアナログ表示に置き換えたい都市を呼び出します。
(3) ⒶボタンとⒸボタンを同時に押します。
確認音が鳴り、デジタル表示とアナログ表示の都市の時刻（カレンダー）が入れ替わります。

8．世界各都市の時刻及びカレンダーを呼び出す方法

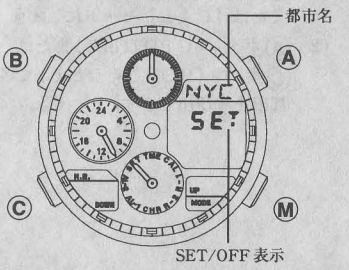


(1) Ⓜボタンを押して『TME』モードまたは『CAL』モードにします。
(2) Ⓐボタン（UP呼び出し）またはⒸボタン（DOWN呼び出し）で各都市を呼び出します。

9．ゾーンセットの使い方［ＳＥＴ］

ゾーンセット機能は、“SET”を選択した都市だけが、各モードで簡単に呼び出し表示できる機能です。

【ゾーンセットモード】



<ゾーンセットの仕方>

(1) Ⓜ ボタンを押して『ＳＥＴ』モードにします。

(2) Ⓐ または Ⓒ ボタンを押してセットしたい都市を呼び出します。

(3) Ⓜ ボタンを引き出します。デジタル表示の“都市名”と“SET”が点滅します。この時、Ⓑ ボタンを押して都市の表示“SET”または非表示“OFF”を選択します。

・他の都市のセットを行う時は、Ⓐ または Ⓒ ボタンを押して修正したい都市を呼び出し、Ⓑ ボタンで各都市のセットを行ってください。

(4) 各都市のセット終了後 Ⓜ ボタンを通常位置に押し込み、セット完了です。

10. レースタイマーの使い方［R－1/R－2］

この時計はヨット競技等に便利な下記の2種類のレースタイマーを持っています。

1. レースタイマー1『R－1』

：セット時間からタイムアップまでのタイマーを自動的に3回繰り返すオートリピート機能がついています。繰り返しのスタート練習等に便利です。

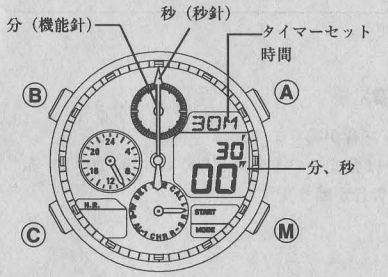
2. レースタイマー2『R－2』

：タイムアップ後自動的にクロノグラフ計測がスタートし、タイムアップからの経過時間を計測できるオートクロノ機能がついています。レースの所要時間を計測するのに便利です。

〈セットの仕方〉～R－1、R－2共通～

レースタイマーは、60分～10分までの5分間隔のセットと6分、5分、3分、1分のセットができます。

【タイマーモード】



(1) Ⓜボタンを押して、『R－1』または『R－2』モードにします。

(2) Ⓜボタンを引き出します。デジタル表示の“分”が点滅します。
この時、Ⓒボタンを押してセットしたい時間を点滅表示させます。
（ボタンは押し続けると早送りできます）

(3) Ⓜボタンを通常位置に押し込み、セット完了です。

☆タイマー計測中、及びオートクロノグラフ計測中は、デジタル表示とアナログ表示の両方で表示します。
但し、オートクロノグラフ計測中のアナログ表示は最大59分59秒までです。
以後、秒針と機能針は00分00秒位置に停止します。

〈タイムアップ音とタイムアップ予告音〉

タイマー終了時に約5秒間タイムアップ音が鳴ります。
また、タイムアップの残り時間が10～1分までの1分毎と50、40、30、20、10、5、4、3、2、1秒の時、タイムアップ予告音が鳴ります。

〈レースタイマー1『R－1』の使い方〉

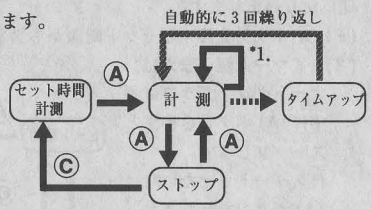
このレースタイマーは、セット時間からタイムアップまでのタイマー計測を自動的に3回繰り返します。その後はセット時間に戻り停止します。

(1) Ⓐ ボタンを押すとセット時間からタイマーがスタートします。

(2)計測中に Ⓐ ボタンを押すとストップします。
再スタートさせたい時は Ⓐ ボタンを押します。

(3)ストップしている時に、Ⓒ ボタンを押すとタイマーセット時間に戻ります。

＊1．タイマーやり直し機能
タイマー計測中に Ⓒ ボタンを押すと、タイマーセット時間に戻り自動的に再スタートします。



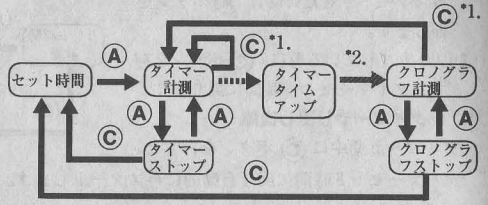
〈レースタイマー2『R－2』の使い方〉

このレースタイマーは、タイムアップと同時に自動的にクロノグラフ計測に切り替わるオートクロノグラフ機能がついています。

オートクロノグラフは24時間計で、クロノグラフ計測終了後は始めのタイマーセット時間に戻り停止します。

(1) Ⓐボタンを押すとセット時間からタイマー計測がスタートします。

(2)タイマー計測、またはオートクロノグラフ計測中にⒶボタンを押すとストップします。
再スタートさせたい時はⒶボタンを押します。



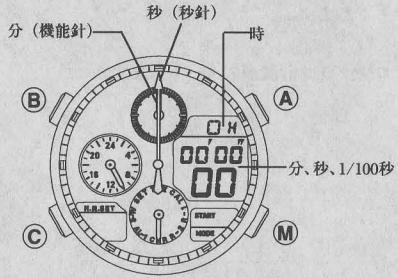
(3)タイマーまたはオートクロノグラフがストップしている時に、Ⓒボタンを押すとタイマーセット時間に戻ります。

＊1．タイマーやり直し機能：
タイマー計測、またはオートクロノグラフ計測中にⒸボタンを押すと、タイマーセット時間に戻り自動的に再スタートします。

＊2．オートクロノ計測スタート：
タイムアップと同時に自動的にクロノグラフ計測がスタートします。

11. クロノグラフの使い方［CHR］

このクロノグラフは1/100秒単位で最大23時間59分59秒まで計測表示できます。
24時間計測終了後はリセット状態に戻り停止します。
また、スプリットタイム（途中経過時間）の計測もできます。

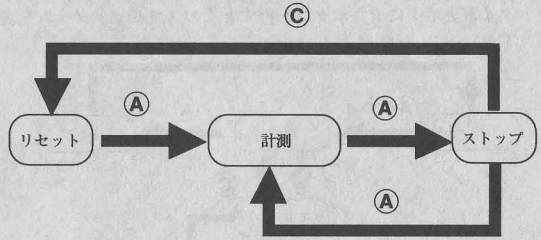


☆クロノグラフ計測中は、デジタル表示とアナログ表示の両方で表示します。但し、アナログでの表示は最大59分59秒までです。以後、秒針と機能針は、00分00秒位置に停止します。

〈積算計測の仕方〉

(1)クロノグラフのスタート／ストップはⒶボタンで行います。(計測中にⒶボタンを繰り返し押すことにより、何度でもスタート←→ストップを繰り返すことができます。)

(2)ストップしている時にⒸボタンを押すとリセットされます。



〈スプリット計測の仕方〉

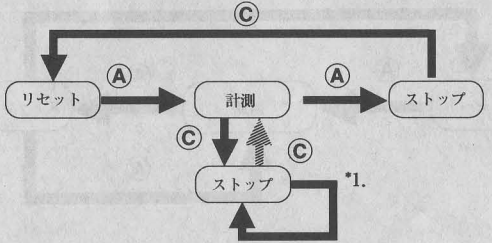
(1)スタート／ストップは Ⓐ ボタンで行います。

(2)計測中に Ⓒ ボタンを押すと10秒間スプリットタイムを表示します。(スプリットタイム表示中は“SPLIT”が点滅表示します。)

スプリットタイムはいくつでも計測表示できます。

(3)ストップしている時に Ⓒ ボタンを押すとリセットされます。

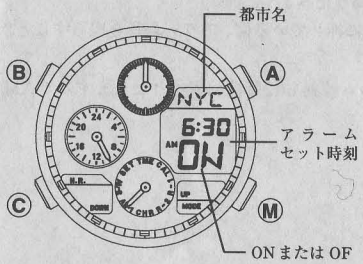
*1. スプリットタイム表示中に Ⓒ ボタンを押すと次のスプリットタイムを表示します。



12. アラーム１／２の使い方 [AL－1/AL－2]

アラーム１とアラーム２は鳴り音が異なるだけで、アラームセット操作等は全て同じです。このアラームは、一度セット（ON）すると毎日同じ時刻にアラーム音が15秒間鳴ります。

【アラーム(ON)モード】



〈セットの仕方〉

(1) Ⓜ ボタンを押して『AL-1』または『AL-2』モードにします。

(2) Ⓐ または Ⓒ ボタンを押してアラームセットしたい都市を呼び出します。

(3) Ⓜ ボタンを引き出します。デジタル表示の“ON”または“OF”が点滅します。

この時、Ⓒ ボタンを押して ON”または“OF”を選択します。

(4) Ⓐボタンを押して修正したい箇所（時、分）を点滅させます。
(5) Ⓒボタンを押して、修正します。（ボタンを押し続けると早送りできます。）
(6) Ⓜボタンを通常位置に押し込みます。

〈アラームの止め方〉

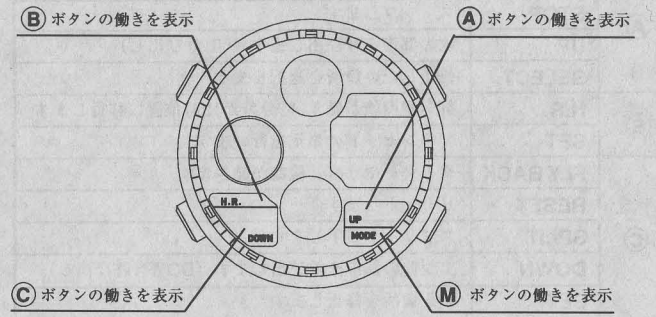
Ⓐ、Ⓑ、Ⓒいずれかのボタンを押せば鳴り止みます。

・アラームモードでⒶ、Ⓒボタンを同時に押している間、アラーム音を鳴らすことができます。（アラーム音モニター）

・時刻モードが12時間制表示の時は、アラーム時刻も12時間制表示となりますのでAM/PMに注意してください。

13. ボタンの働き表示について

この時計には、各ボタンの働きを示すデジタル表示がありますのでご参照ください。



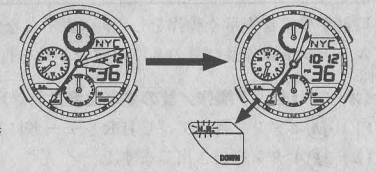
ボタン	表示	ボタンを押した時の働き
Ⓜ	MODE	モードを切り替えます
Ⓐ	START	スタートします
	STOP	ストップします
	UP	次の都市を呼び出します（UP呼び出し）
	SELECT	修正したい箇所を選択します
Ⓑ	H.R.	針退避機能が働き、時分針が12時位置に移行します
	SET	ゾーンセットの修正を行います
Ⓒ	FLY BACK	タイマーやり直し機能が働きます
	RESET	リセットします
	SPLIT	スプリット表示します
	DOWN	1つ前の都市を呼び出します（DOWN呼び出し）
	SET	修正個所を修正します

14. 覚えておくと便利な機能

デジタル表示にアナログの針が重なり、デジタル表示が見にくい時‥‥

この時計は、デジタル表示に時針や分針が重なり見にくい時、時針と分針を退避させることができます。（針退避機能）

＜操作方法＞



(1)Ⓑ ボタンの働きを示すデジタル表示に“H.R.”が点灯している時にⒷボタンを2秒以上押します。時針、分針が12時00分位置に向かって動き始めます。

(2)時針、分針がデジタル表示の死角にならない位置まで移動したら、再度Ⓑボタンを押して針を止めます。（Ⓑ ボタンを押さない場合は、12時00分位置まで移動し、停止します。）

〈針退避機能の解除〉

再度、Ⓑボタンを押します。

☆針退避機能が働いている間、“H. R.” が点滅表示します。

☆H. R.…HAND - RETRACT の略です。

時計が異常な表示をした時や故障かな？と思った時‥‥

時計が異常な表示や動作をした時（表示しない、アラームが鳴り続ける等）は、次のオールリセット操作及び針の基準位置合わせを行ってください。

〈オールリセット操作／針の基準位置合わせ〉

(1) Ⓜボタンを押して『ＣＨＲ』モードにします。

(2) Ⓜボタンを引き出します。

(3) Ⓐ、Ⓑ、Ⓒのボタンを同時に２秒以上押します。
（押している間は表示が消えます。）

(4)ボタンを離します。（すべてのデジタル表示が点灯します。）

(5) Ⓜ ボタンを通常位置に押し込みます。

(6)再度、Ⓜ ボタンを引き出します。デジタル表示に “F_H” が表示されます。

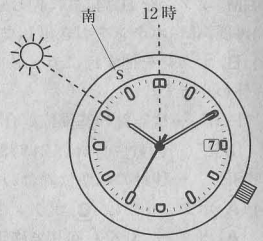
(7) Ⓑ ボタンを押す毎にデジタル表示が “F_H” → “H. R.” → “SEC” の順番に切り替わります。
“F_H” …機能針の基準位置合わせができます。
“H. R.” …時針／分針／24時間針の基準位置合わせができます。
“SEC” …秒針の基準位置合わせができます。

(8) Ⓐ ボタンまたは Ⓒ ボタンを押して各針を24時00分00秒の位置に修正します。
Ⓐ ボタン：針を右回りで修正します。
Ⓒ ボタン：針を左回りで修正します。

(9) Ⓜ ボタンを通常位置に押し込みます。各モードを正しく合わせ直してください。

☆針の基準位置が狂っていると時計が正常な表示をしません。

15. ベゼルの使い方



この時計のベゼルは、各種機能を持っています。
モデルによっては、この機能がついていないものがあります。

1．方位計
2．ヨット
3．キロメートル（Km）／マイル（mile）／ノット（naut）換算

1．方位計（北半球の場合）

この方位計を使って、太陽の位置を基準にしておおよその方位を知ることができます。

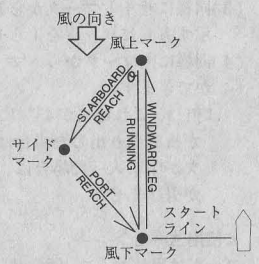
（使い方）

時計の時針を太陽の方向に合わせると、時針と文字板の12時位置の中間点が南を表しますので、回転ベゼルの“S”マークを南位置に合わせることで、おおよその方角を知ることができます。但し、緯度、季節によってズレがあります。あくまでも目安としてご使用ください。

2．ヨット

＜予備知識＞

通常のヨットレースは図のようなマークが設定され、決められた順番にマークをいかに早く回るかで順位を決めます。また方位は北＝0°、東＝90°、南＝180°、西＝270°というように角度で表されます。またヨットが中心軸より右から風を受けて走る状態をスターボード、逆にヨットが中心軸より左から風を受けて走る状態をポートと呼びます。



＜使用方法－1＞

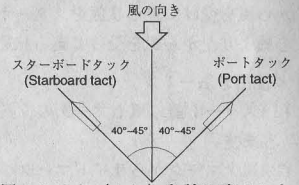
(1)スタート前に風上マークの位置をコンパスで読み取り、12時位置▲マークに合わせます。

(2)風上マークからサイドマークへ向かうコース（スターボードリーチ）は左下の緑▲の示す方向にありますので、悪天候などでマークが見えなくてもその方向にヨットを走らせればマークに到達できます。

(3)同様にサイドマークから風下マークへ向かうコース(ポートリーチ)も右下の赤▲の示す方向にヨットを走らせれば風下マークへ到達できます。

(4)同様に上マークから下マークへ向かう時も、下の白▲の数字を読めば方向を知ることができます。

*但し、これはθが45°に設定された場合に有効であり、60°のようにサイドマークが横にはり出した場合は、緑、赤の各々の上の数字、または30°のようにサイドマークが中に入った場合は、緑、赤の▲の各々の下の数字を読まなければ正確なコースが引けません。



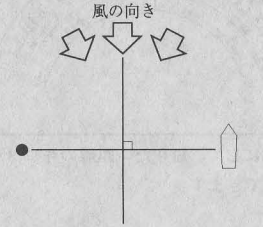
＜使用法－2＞

ヨットは風に対して、通常45°位まで風上に向かって走ることができます。(性能の良いものは40°近くまで切り上がれます)レースの前に風上いっぱいまで走らせて、その角度を右上(または左上)の赤(または緑)に合わせておけば、スタートしてからの風のシフト(ふれ)を読み取ることができます。そうすることによって、より自分のヨットを有利な方向へ持っていくことが可能です。

＜使用方法－3＞

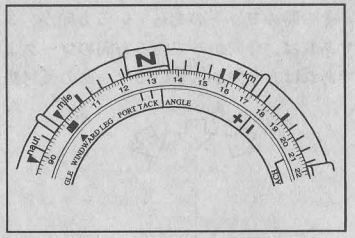
スタートラインの傾きを知るのに使用します。通常スタートラインは風向に対して直角に設定されていますが、風は常に変化していますので、完全に直角に設定されることはめったにありません。そこで風向を12時位置の白い▲に合わせ、片方のエンドからもう片方のエンドに向かってヨットを走らせます。その時のヨットの走っている方向が、3時位置(または9時位置)の白い線より十側であれば、今向かっている方向のマークよりからスタートしたほうが有利で、逆に一側であれば、今向かっているマークの反対側が有利ということになります。

*以上、3つの機能を駆使することにより、レースにおいて自分のヨットをより有利なポジションに持っていくことが可能です。



3．キロメートル（Km）/マイル（mile）/ノット（naut）換算

キロメートル（km）/マイル（mile）/ノット（naut）のおおよその換算ができます。計算結果はあくまでも目安としてご使用ください。尚、このベゼルでは位取りまではできません。



＜使い方例＞

1．1マイルに相当するキロメートル及びノットを求めます。

・回転ベゼルの▼mile（またはSTAT▼＝マイル）を10に合わせます。この時、▼km（キロメートル）は、約1.6kmを示します。
また、▼naut（またはknot＝海里）は、約86.6（約0.866）を示します。

・同様にして、知りたい距離のキロメートル（km）/マイル（mile）/ノット（naut）換算ができます。

16．お取り扱いにあたって

⚠警告　防水性能について

・日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
・日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10／20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について

・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、右図を参照して正しくご使用ください。

・WATER RESIST (ANT) △△ bar はW.R. △△ barと表示している場合があります。

(1 barは約1気圧に相当します)

名称	表示		仕様	水がかかる程度の使用。（洗顔、雨等）
	文字板	ケース(裏ぶた)		
非防水時計	無表示	無表示	非防水	×
日常生活用防水時計	無表示	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST 5barまたは無表示	WATER RESIST(ANT) 5barまたは WATER RESIST(ANT)	5気圧防水	○
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST 10bar/20barまたは無表示	WATER RESIST(ANT) 10/20barまたは WATER RESIST(ANT)	10気圧防水 20気圧防水	○

使用例			
水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのボタンの操作。
×	×	×	×
×	×	×	×
○	×	×	×
○	○	×	×

⚠ 注意

・ボタンは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。
・水分のついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。
水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
・万一、時計内部に水が入ったり、また、ガラス内面にくもりが発生し長時間消えない時は、そのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、ボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意　携帯時の注意

・幼児を抱く時などは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
・激しい運動や作業などを行う時は、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バック等）と一緒に使用する場合はご注意ください。

⚠ 注意　バンドのお取り扱いについて

・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 警告　電池の取り扱いについて

・幼児の手が届かないところに置いてください。
誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師に相談して治療を受けてください。

温度について

・0℃～＋55℃から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。
・常温（＋5℃～＋35℃）から外れた温度下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。

ショックについて

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

磁気について

・磁石には近づけないでください。磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア・バックの止め具など、磁気に近づけると時刻が狂います。この場合は磁気から離して時刻修正をしてください。

静電気について

・クオーツウオッチに使われているＩＣは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示が狂うことがありますのでご注意ください。

化学薬品・ガス・水銀について

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。
シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤等）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について

・長期間ご使用にならない時は、汗・汚れ、水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
・また、電池寿命切れの電池を入れたまま長期間放置しますと、電池の漏液により機械部品が損傷する場合がありますので、ご注意ください。

17. 製品仕様

1．**キャリバーNo.**：C320
2．**型式**：コンビネーション（アナログ＋デジタル）水晶時計
3．**時間精度**：平均月差±20秒　常温（＋5℃～＋35℃）携帯時
4．**作動温度範囲**：0℃～＋55℃
5．**表示機能**：・時刻：時、分、秒、都市名
・カレンダー：月、日、曜、都市名
・レースタイマー1／2：60分計
・アラーム1／2
・クロノグラフ：24時間計（1/100秒単位）
・ゾーンセット
6．**付加機能**：・アナログ表示／デジタル表示入れ替え機能
・針退避機能
7．**使用電池**：電池番号　280-44、電池コード　SR927W
8．**電池寿命**：約2年（電池寿命の目安：アラーム音：15秒／日、レースタイマー／クロノグラフ：1回／週使用した場合）

※製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

18. 保証とアフターサービスについて

1．保証について

保証期間内に、取扱説明書にそったご使用状態で、万一故障が生じた時には、保証書に従い、無料修理いたします。

2．修理用部品の保有期間について

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ボタン等の外装部分におきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3．修理可能期間について

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については現品ご持参の上販売店でご相談ください。尚、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4．ご転居、ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

5. 定期点検(有償)について

・安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検(有償)を行ってください。
・防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒等の交換を行ってください。
・部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金等、詳しくはお買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

6. 電池について

・お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。

※電池寿命が切れた場合は、保証期間内であっても電池交換は有料となります。

7. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明の点がございましたらお買い上げ店、または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。